

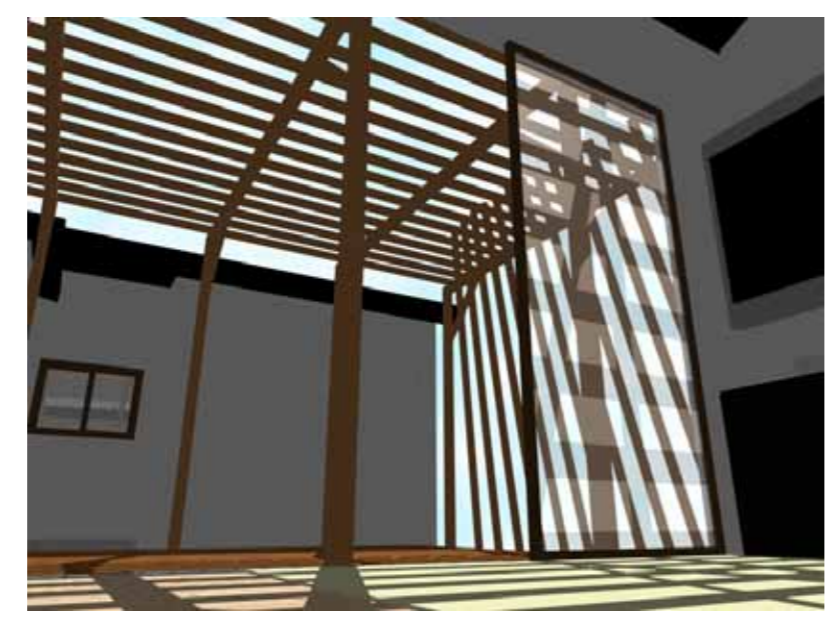
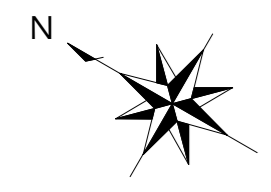
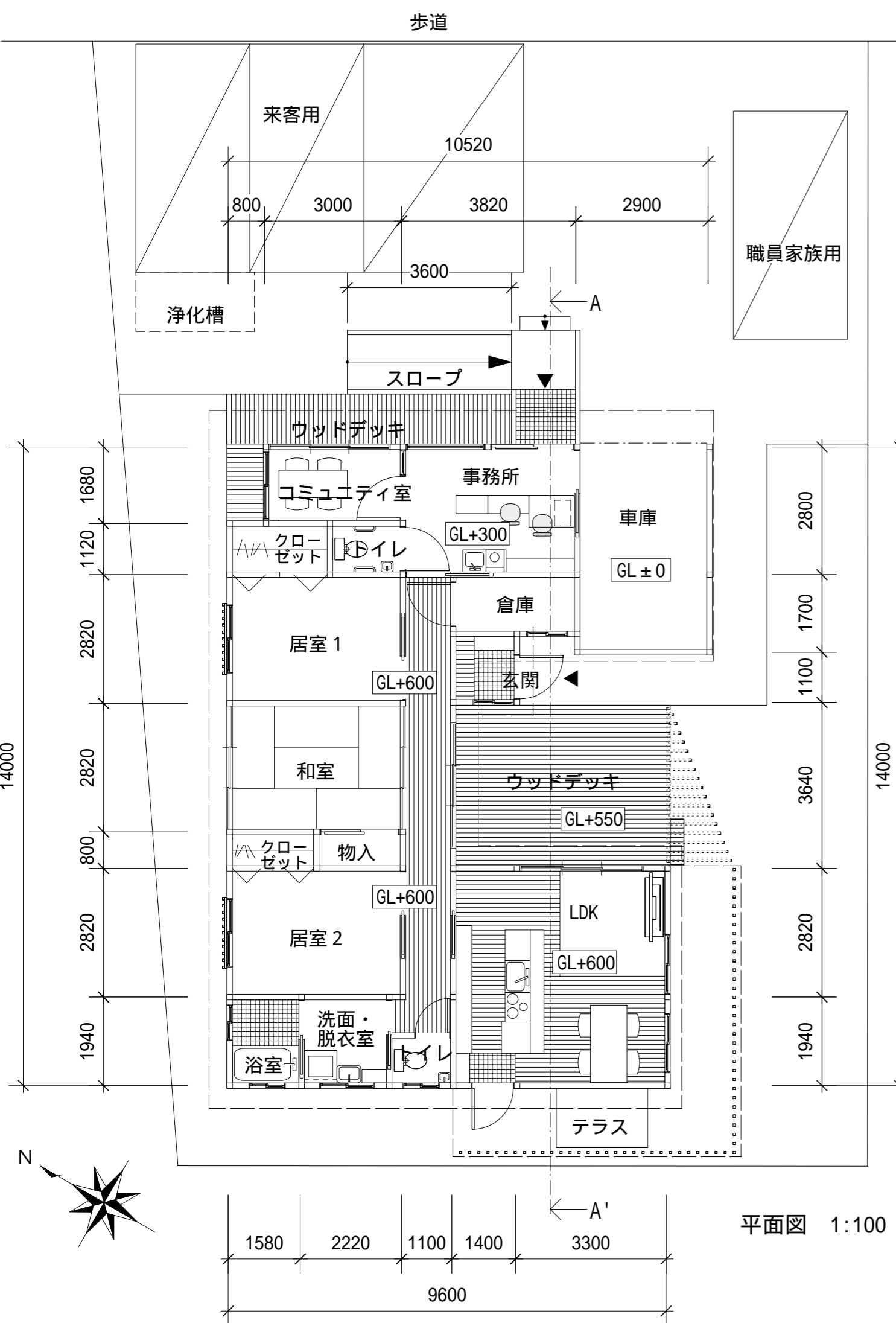
コミュニティ室の市道側にウッドデッキを設けて机などを出したり、デッキに座りながら日光を感じながら話し合える。

彦名の警察官駐在所



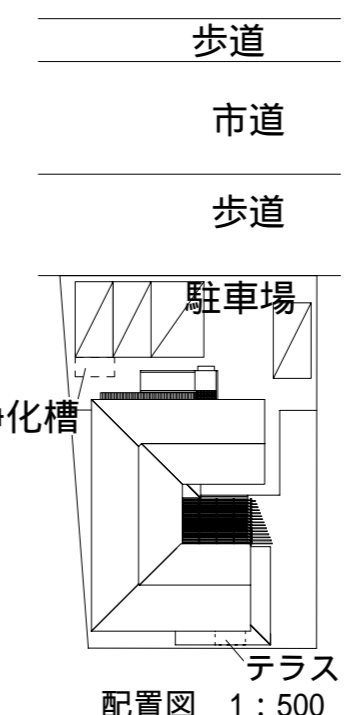
設計主旨

美保中の生徒が登校中に起こった中学生傷害事件はまだ記憶に新しい。近年、このあたりでも不審な人が増えてきていることは明らかである。今回の課題である彦名町警察官駐在所の移転新築の場所は良いことに彦名小学校の目の先である。小学生を守るのに最適な場所である。駐在所の前の歩道は良く小学生の登下校に使用される。僕は授業中窓から毎日のように下校している小学生を見る。集団で帰る子や、遅れて一人で帰る子もたまにいる。それを見ると、「これから一人で家に帰るのかな～大丈夫かなあ??」と良く思う。下を向きながら歩く子もいる。そんな時、駐在所の市道側をガラス張りにすることによって、中から見つけて一声「寄り道をせずにまっすぐ帰るんだよ。」などと声をかけてあげられたらその子も「今度は遅れずにみんなと帰ろう」と思うだろう。そんな思いで、事務所を設計しました。実際に自営業のお店の人、主婦の人とかも小学生になるべく声をかけてあげる運動も他の町にはある。下校時間になると駐在所の前に出て、一人の子だけでなく集団の小学生みんなに声をかけてあげれば、小学生は駐在さんを身近に感じ安心感が生まれるだろう。駐在さんも小学生から貴重な話が聞けると思う。そのうち小学生がコミュニティ室を使うようになるだろう。



中庭の格子はLDKの中庭面と直角ではなく東南方向を向きながら中庭側に倒れこむように斜めに立て掛けてあり、東からの朝日をなるべく遮ることなくLDKに日光が入るようにしてあります。

駐在所が建つ彦名地区は純日本風の住宅が多いことから綺麗な景観を損ねずに、親しみをもって使ってもらいたいので駐在所も切り妻の日本風の建物にした。プライバシーの確保に対する提案にも日本ならではの格子を使って市道・学校側から住宅部分が見えないようにした。この字の建物に中庭があり、ウッドデッキになっておりそこに格子を設け、上にはストライプ状の角材を敷き、外部との空間を区切った。これによって日光と視線を適度に遮り東からの風を通し、すごしやすい空間にした。物干し場を兼ねるテラスも格子の中に設置して外部から洗濯物が見えないようにした。



建ぺい率	33.4%
容積率	28.6%

項目	内容
建築面積	133.4㎡
延床面積	113.5㎡
最高の高さ	4.3m
外壁仕上げ	弾性塗装
屋根の仕上げ	瓦葺
住居部分のプライバシーの確保に対する提案	住居部分の市道・学校側には格子を付けてプライバシーの確保をした。
省エネルギーに対する提案	南西側と中庭に格子を設け夏の暑い日差しを避け、東側から涼しい風と日差しを取り入れる。